

教育体制・組織改革の取り組みについて

相模原すみれ園では、施設運営の安定化とサービスの質の向上を目指し、組織体制や教育体制の見直しを進めています。

組織図の見直しを行い、それぞれの職員の役割や責任を明確にするとともに、リーダー教育、アンガーマネジメント研修、認知症介護指導者からの助言、新人教育の強化など、職員一人ひとりが適切な対応を行えるための教育体制の充実に取り組んでいます。

また、施設をより良くしていくためには、管理者や上司からの指示だけではなく、日々現場で働く職員が感じている「疑問」「気づき」「困っていること」「こうした方が良いのではないか」という声を大切にすることも重要だと考えています。

そこで今回、職員が日頃感じていることを第三者の専門家と話しながら整理し、職場環境や組織の課題を把握するための外部相談支援サービス「とはなす（toHANAS）」を導入しました。<https://tohanas.jp/corporate/company/#results>

職員が安心して話すことのできる機会を設けることで、個人の悩みへの対応だけではなく、現場で感じている課題や改善のヒントを組織づくりにつなげていくことを目的としています。

「職員が気づく」「職員が話す」「施設が受け止める」「できることから改善する」

この循環を大切にしながら、職員がより良い環境で働くことができ、その結果としてご利用者様へのより良い介護・サービスにつながる施設づくりを進めてまいります。

今後も、教育体制の充実と組織改革を継続し、ご利用者様・ご家族の皆様に安心していただける施設を目指して取り組んでまいります。

令和8年8月20日

社会福祉法人すみれ厚生会
相模原すみれ園
施設長 田中 仁